

平成30年度神戸市当初予算に対する

要 望 書

平成29年11月

民進こうべ政策議員団

# 目 次

平成 30 年度神戸市当初予算に対する要望	1
民進こうべ政策議員団（名簿）	2
局別要望	
市長室	4
危機管理室	5
企画調整局	7
行財政局	10
市民参画推進局	11
保健福祉局	13
こども家庭局	18
環境局	20
経済観光局	22
建設局	25
住宅都市局	27
みなと総局	29
消防局	31
水道局	32
交通局	33
教育委員会	34
県との連携	37

# 平成30年度神戸市当初予算に対する要望

久元市長は、就任以来「大切なものはしっかり守り、断固たる決意を持って変えるべきところは変える」ことを基本に市政運営を行い、先の市長選挙において神戸を「さらなる高み」へ押し上げる政策を公約に掲げられ、見事当選を果たされました。

二期目初の予算編成にあたっては、人口減少・少子超高齢社会が到来していることを踏まえ、総合的な政策を大胆に早急に進めることが求められます。そのためには、「神戸 2020 ビジョン」および「神戸創生戦略」に沿った施策の推進にあたって、数値目標を示し、見える化を図りながら本格的に進めていくことが欠かせません。

また、神戸空港のコンセッションにより運営権の売却・関西三空港の一体運営が実現することから、その効果として観光や多様なビジネス産業の発展など、神戸経済の活性化に結び付けていくことも必要です。

「神戸 2020 ビジョン」のテーマである「若者に選ばれるまち」を実現するためには、新しい魅力ある就労先を創造し開拓するとともに、起業やスタートアップへの支援の充実を図ることや、日本一の子育て政策と新しい住宅政策等で、若者を惹きつけることが求められています。

そして、「誰もが活躍するまち」を具現化するためには、超高齢社会に対応した医療・介護・生活支援等の地域包括ケアシステムを早期に構築し、障がい者雇用政策も法定雇用率のアップを鑑みて拡充を図っていくことが重要になります。我が会派では、「地域包括ケアシステム・ネットワーク推進に寄与する状況調査」を実施し、地域包括ケアシステムの構築の課題等について、政策提言書としてまとめました。これらの実現に向けても施策を推進することを求めます。

さらには、神戸の歴史と文化を大切にしつつ、他都市から見ても魅力あるまちにしていくことも重要であり、文化・スポーツ都市として、ラグビーワールドカップ 2019 や 2020 年の東京オリンピック・パラリンピックなどスポーツイベントを活かした人材と都市づくりを目指すことが必要です。国際都市神戸として、多文化共生のまちをさらにバージョンアップする取組を進めることは、この一助になると考えます。

私たち民進こうべ政策議員団は、神戸が変わりつつあることを市民が実感できるよう取り組まれることに期待するとともに、市民と一緒に「持続可能な大都市経営」を担っていくため、これからも久元市政を支えていくことを申し上げ、予算要望致します。

# 民進こうべ政策議員団



藤原 武光  
(垂水区選出)

団長  
総務財政委員会委員



大井 としひろ  
(須磨区選出)

幹事長  
福祉環境委員会委員



平木 博美  
(中央区選出)

政務調査会長  
文教こども委員会委員



人見 誠  
(北区選出)

副政務調査会長  
経済港湾委員会委員長





池田りんたろう  
(北区選出)

企業建設委員会委員



川内清尚  
(垂水区選出)

文教こども委員会委員



川原田弘子  
(垂水区選出)

神戸市会副議長  
都市防災委員会委員



岩田嘉晃  
(西区選出)

経済港湾委員会委員



永江一之  
(灘区選出)

都市防災委員会副委員長

# 局 別 要 望

## ◆市長室

☆大型ビジョンを有効な場所に設置するなど「見える化」に効果のある広報に努められたい。

### 1. 国際戦略

- (1) 「神戸市国際戦略」の策定により、国際的視野に立った政策形成・施策の企画・立案等の人材育成などの取組が強化されたことを踏まえて、経済・人材育成・ODA事業のアジア戦略を明確にし、神戸の国際都市としての地位を高めるよう努められたい。

### 2. 広報

- (1) 紙面やSNSなど広報媒体の活用はもちろんのこと、マスメディアに対して積極的な営業を行うなど、広報戦略をさらに充実させ、広く市民が共有できる広報に努められたい。

## ◆危機管理室

☆大規模災害発生に備え、誰にでもわかりやすいピクトグラム表示や多言語表記、やさしい日本語表記などを利用し、避難誘導指示がしやすいように整備されたい。

### 1. 危機管理体制の充実と安全で安心なまちづくりの推進

- (1) 南海トラフ地震・津波対策については、引き続き危機管理体制の充実・強化に取り組まされたい。
- (2) 災害警報・避難情報発令にあたっては、なるべく多くの市民に迅速に正確な情報が伝達されるよう引き続き万全を期されたい。
- (3) 子供の安全を確保するため、通学路等において防犯カメラの設置をさらに進めるとともに、機器の更新時期を考慮したメンテナンスを検討されたい。
- (4) 帰宅困難者の対応策として、民間の施設・ビルの確保にも努められたい。
- (5) 災害時の避難生活における口腔ケアの実施に向けて取り組まされたい。
- (6) 災害時要援護者支援に向けて、各地域での各支援団体の取組を強化されたい。
- (7) 市民参画推進局と連携して、「災害テレフォンセンター」を設置し、万全の準備を整えられたい。
- (8) 国内で年々増え続けている豪雨災害について、市民への広報のさらなる充実と、いざというときの避難誘導や情報発信について現状の市民生活を踏まえた伝達方法を整備されたい。
- (9) ヒアリなど、有害外来生物について、関係機関と連携して、水際での拡散防止に取り組まされたい。
- (10) 最近、急速に高まる外的リスクに備え、関係機関より最新情報の入手に努めるとともに国民保護計画への速やかな反映に努め、また、市民が確実にJアラートを受信できるよう取り組まされたい。
- (11) 暴力団対策では、情報収集及び犯罪防止のため県警との連携を強化され、市民が確実に犯罪に巻き込まれないよう取り組まされたい。

### 2. 震災の教訓の継承・啓発

- (1) 震災経験を踏まえた国内外への情報発信に努めるとともに、危機管理センターを利用した若年世代の防災体験教育に一層力を入れられたい。

### 3. その他

- (1) 新型インフルエンザ・デング熱・エボラ出血熱、はしか等の発症を想定した対応策を充実強化し、風評被害を含め、発生時の感染被害を最小限に抑えられたい。
- (2) 子供たちが、交通ルールや交通に関する知識を身につけることができる「交通公園」の整備を図るべく検討されたい。
- (3) 自転車の安全走行に関する啓発活動については、学校での自転車安全教室に加え、入学前の幼児と保護者を対象に進められたい。
- (4) 三宮北地区の健全なまちづくりに向けて、県や県警・地域と連携して実効ある対策を引き続き講じられたい。（県との連携にも要望）
- (5) 災害時の要援護者支援において、特に医療的配慮の必要な透析患者や重度障がい者、心臓病患者などが、透析や人工心臓の継続に必要な水やバッテリー、また、食事への配慮に対して備えるよう検討されたい。

## ◆企画調整局

- ☆これまでに神戸で開催した国際シンポジウム等の成果を活かした具体的な施策と事業を推進し、さらなる医療産業の誘致や発信、神戸経済の活性化と市民福祉向上に努められたい。
- ☆「神戸アイセンター」のオープンを活かし、さらに先端医療の市民への提供を推進し、関連産業の発展や機関との連携にも繋げて再生医療の実用化を推進されたい。
- ☆企業誘致に係る各種支援・優遇処置を拡充し、労働力の確保に努め、定住者の増加を図るため、居住環境の整備に取り組まれたい。（みなと総局にも要望）
- ☆医療・研究機関・教育・子育てなどの充実を図り、安全・安心な社会を構築し、移住・定住の促進を戦略的に図られたい。

### 1. ICT（情報通信技術）推進

- (1) 東京事務所機能の強化については、兵庫県事務所との統合による総合メリットが活かされつつあるが、特に、政治、各省庁、経済界の動向を的確に把握するとともに、国内外の情報収集により、神戸の都市戦略を的確かつ大胆に推進されたい。
- (2) オープンデータ・ビックデータの活用により、神戸でのソーシャルビジネスやコミュニティビジネスおよび起業等の効用が図られ、神戸の地域課題雇用効果等の推進を図るとともに目に見える市民サービスに繋がる取組を強化されたい。

### 2. 神戸医療産業都市の推進

- (1) 国際がん医療・研究センターが、次世代医療・新規医療開発の研究・開発・国際的な医療研究などグローバル化の拠点として整備が進められることを受け、海外患者の受け入れワンストップ窓口の活用を図り、アジアの諸国の医療水準の向上による国際貢献をさらに進められたい。
- (2) 県市協調と産官学連携による介護ロボットの開発と普及に努められたい。
- (3) 医療ロボットについては、神戸の新しい産業としての中小企業の育成支援を行われたい。
- (4) バイオ医薬品拠点・バイオ医薬品の開発「バイオ製造人材育成プロジェクト」等への支援を継続し、地元企業の参画と拠点形成実現に向けて取り組まれたい。

- (5) 次世代スパコン（ポスト京）の整備・運用について詳細設計の促進を図り、産業利用促進の戦略を検討し、人材育成等を兵庫県と連携してさらに進められたい。

### 3. 「デザイン都市・神戸」の推進

- (1) 「デザイン都市・神戸」のさらなる市民理解を図るとともに、日常の市民生活に神戸ブランドデザインが愛用される仕掛けや生活モデルが目に見える取組などを強化されたい。
- (2) 世界のトップデザイナーの育成・養成を図るとともに、神戸ファッションコンテストを活かし、留学生の活躍する場の工夫を検討されたい。また神戸がデザイン都市のアジアの拠点としての地位を高めるよう努められたい。

### 4. WHO（世界保健機関）神戸センターの役割

- (1) 超高齢社会に対応した認知症の原因究明と治療開発の研究をさらに進められたい。
- (2) 感染症や新型インフルエンザ等の新薬開発や医療の支援など、WHOと連携して神戸市民はじめ国民の安心・安全に寄与されたい。

### 5. 神戸市公民連携の推進

- (1) 民間事業者からの提案を募集する神戸市民間提案型事業促進制度のさらなる普及を図り、「神戸創生戦略」に活かすなど民間からの事業提案を積極的に促す手法をさらに工夫されたい。
- (2) PPP事業（公民連携事業）については、公共用地の有効活用による神戸市の政策課題の具体化を目指し、組織横断的な見地から検討を行い、積極的に進められたい。

### 6. 新たな大都市制度の推進

- (1) 多様化複雑化する大都市の財源と権限を拡充する「特別自治市」の実現に向けて、他の政令指定都市と連携して強く行動を伴う運動として展開するとともに、市民機運の盛り上げを図られたい。

### 7. 地方分権と権限移譲

- (1) 「指定都市都道府県調整会議」においては、二重行政の解消を目指し、権限移譲と市民サービス向上に向けて、戦略的に取り組まれたい。
- (2) 修学前の子育ては神戸市が責任を持って事業を実施するため、幼稚園に関する

権限と財源を神戸市に委譲するよう、兵庫県に要望されたい。

- (3) 地方自治体の窓口で求人情報を紹介出来る「地方版ハローワーク」を拡充されたい。

## 8. 神戸暮らし体験事業について

- (1) 人口減少の流れを変える神戸市への移住・交流事業のさらなる推進を図るため、「ふるさと回帰支援センター」を活用するとともに、相談窓口の一体化と受入メニューの開発を推進されたい。

## 9. 文化ホールのあり方について

- (1) 文化ホールのあり方の検討に当たっては、長期公演が可能なことやプロ仕様の施設であることに加え、市民の芸術文化活動の中心であり人材育成を図り、市民の発表の場としての役割を果たす施設であることも含め検討されたい。

## ◆行財政局

☆働き方改革の推進にあたっては、仕事と家庭の両立支援としての制度が整備されつつあるが、制度拡充とともに、職員が制度を利用しやすい職場環境の醸成に努められたい。

### 1. 行財政改革2020

- (1) 「神戸創生戦略」「神戸ビジョン2020」との関連性を踏まえながら、将来の一般会計収支不足が見込まれていることもあり、財政調整基金、一般財源の総額のあるべき姿など、持続可能な都市経営の安定的財政運営に努められたい。

### 2. 国際人材の育成について

- (1) 国際的見識や交渉能力を持つ人材を育成するため、これまでの英語圏のみならずASEAN地域も対象とし、自治体国際協会とも連携した事業を展開されたい。

### 3. 債権管理対策について

- (1) 国の「トップランナー方式」の導入により地方交付税が減ること等を踏まえ、今後、未収債権縮減、税徴収率向上にさらに努められたい。

### 4. 内部統制について

- (1) 地方自治法改正に伴う内部統制制度については、平成32年4月施行を目指して方針の策定の検討を進められたい。



## ◆市民参画推進局

☆元気なシニア世代の活躍の場、就労を希望されるシニア世代に加え、ボランティアの中間的な働き方、有償ボランティアを望まれる世代のニーズに応え、シルバー人材センターの強化や、NPOの設立促進、ソーシャルビジネスの育成などに取り組みたい。（保健福祉局にも要望）

### 1. 広聴

- (1) 緊急時に「災害テレフォンセンター」が設置されることを市民にもっと周知されたい。

### 2. 市民サービスの向上

- (1) 日常生活の中で生じる様々な問題を含めて、総合コールセンターで相談窓口の紹介が出来る体制をつくとともに、総合コールセンターの広報に取り組みたい。
- (2) DVによる被害を受けた親子が安全に安心して面会できる「面会センター」設置に向けて積極的な取組を進められたい。
- (3) DV被害者の一時保護にかかる支援の強化を民間シェルター運営の支援とともにに行い、シェルターを退出後の就労支援や相談体制の強化に努められたい。
- (4) DVと虐待対策においては、管轄する局の一本化を図られたい。（こども家庭局にも要望）
- (5) 神戸消費者教育センターのリニューアルオープンを機に、消費生活マスターを積極的に活用するなど、消費者教育のさらなる充実に取り組みられたい。
- (6) 危機管理室と連携して、「災害テレフォンセンター」を設置し、万全の準備を整えられたい。
- (7) 点字ブロック・点字サインの設置拡充に取り組みられたい。
- (8) 地域活動総合助成金の制度を使いやすいものに変更するよう検討されたい。
- (9) 災害時に区役所が果たす防災福祉機能について、準備を整えられたい。
- (10) 総合窓口やワンストップサービス、休日開庁の拡充等、区役所・出張所の市民の利性向上に引き続き努められたい。
- (11) 北区役所北神支所の業務体制の充実・強化を図られたい。
- (12) 狭く老朽化した区民センター・区民ホール等については、市民活動の場の確保や青少年の居場所づくりなど地域活性化の観点も含めて、再整備を検討されたい。

### 3. 地域との連携

- (1) 団塊世代等の積極的活用など、地域活動の担い手の育成に努められたい。

### 4. 文化交流

- (1) 神戸文化ホールでの開催プログラムについては市民広報を充実するとともに、出演団体の国との交流を検討するなど工夫されたい。
- (2) 神戸国際フルートコンクールは、次回以降も継続実施できるよう取り組まれたい。

### 5. 男女共同参画

- (1) 男女共同参画に関する市民・事業者の理解と関心を深めるため、男女いきいき事業所表彰の事業所名と取組内容についての紹介も含め、広報周知されたい。
- (2) 効果的なワーク・ライフ・バランスの推進策を講じられたい。
- (3) 審議会等の女性委員の比率向上に取り組まれたい。

## ◆保健福祉局

☆認知症にやさしいまちづくりを推し進めるとともに、認知症にならない予防医学にも注力し、医療産業都市の英知を結集して取り組まれない。

☆障がい者の自立に向けた就労を支援するための研修を充実させるとともに、受入企業拡大に向けて積極的に取り組まれない。

☆福祉先進都市神戸として推進してきた「しあわせの村」にある、障がい者施設、医療施設、高齢者施設、保養施設など豊かな福祉資源を活かし、施設間の交流を進めるとともに、この村で生活し、住み、働けるような総合福祉エリアとしてステップアップしていけるよう、思い切った施策を検討されたい。

☆元気なシニア世代の活躍の場、就労を希望されるシニア世代に加え、ボランティアの中間的な働き方、有償ボランティアを望まれる世代のニーズに応え、シルバー人材センターの強化や、NPOの設立促進、ソーシャルビジネスの育成などに取り組まれない。（市民参画推進局にも要望）

☆民生委員の業務負担の軽減を図るため、あり方委員会での検討を進めるとともに現場の意見を聴取の上、これからの高齢社会の担い手の育成に努め、よりよい見守り体制の構築に努められたい。

### 1. 市民の安心づくり

- (1) 予防接種事業については、疾病予防対策として自治体による差をなくすため、国への要望と併せて、継続的に公費助成の拡大に取り組まれない。
- (2) 小児医療費などに対するさらなる公費助成の拡大に取り組まれない。
- (3) 高齢者・障がい者・DV（配偶者暴力）などの虐待防止のためには、警察や医療機関との連携を強化し、相談体制の確立、周辺の人々が異常を感じた時の通報体制づくり、被害者サポート体制の確立に取り組まれない。
- (4) 自殺対策として、うつ病対策をはじめ、ゲートキーパーのさらなる養成や医療機関との連携、いのちの電話など相談体制の充実に官民一体となって取り組まれない。
- (5) 生活保護の不正受給をなくす体制を強化し、適正利用を進めることによって、市民のセーフティーネットを堅持されたい。
- (6) 生活保護世帯の医療保険加入による一部自己負担の導入について、他の政令指定都市と連携しながら国に働きかけられたい。

- (7) 神戸市歯科口腔保健条例の制定を受けて、歯周疾患検診の拡大を検討されたい。
- (8) こうべ市歯科センターへは、歯科診療事業に加え、訪問保健指導・検診などの公衆衛生的事業に対しても、十分な財政的支援を行われたい。
- (9) 生活困窮者自立支援法による事業実施は、相談窓口や的確な支援プログラムの策定及び自立と就労支援の充実を、また、貧困連鎖を断ち切る教育支援など、関係部局の連携を強化して対応されたい。
- (10) 地域での高齢者への健康づくりを積極的に進められたい。
- (11) 鉄道駅舎のホーム柵の設置やエレベータ設置など、なお一層のバリアフリー化を進められたい。
- (12) #7119の普及に取り組まれたい。(消防局にも要望)

## 2. 医療体制の整備・充実

- (1) 救急医療体制への支援を含め、地域医療に従事する勤務医の待遇改善を図り、医療従事者の確保に努められたい。
- (2) 「地域医療連携総合システム」による在宅医療への移行の方向性を鑑み、市民病院群と連携する地域医療機関の拡大、電子カルテの導入などの推進に取り組まれたい。

## 3. 神戸市立医療センター中央市民病院及び西市民病院の運営

- (1) 神戸市西部においても24時間体制の小児救急拠点を早期に整備されたい。
- (2) 安心して子供を産み育てられるよう、小児科・産婦人科・助産院・周産期医療センターの連携による地域医療体制づくりに取り組まれたい。

## 4. 高齢者支援の促進

- (1) 地域連携による高齢者支援対策の推進に努め、徘徊SOSネットワーク・見守り・生活支援活動など地域で支える仕組みづくりを拡充されたい。
- (2) 平成30年4月の大きな法改正を見据え、介護保険制度の法解釈に関する市内統一ガイドラインを策定するとともに、介護予防と、在宅サービス地域密着型サービスを推進されたい。
- (3) 地域包括ケアシステムについて、超高齢社会に対応する在宅診療の推進のため、市内医師会とも連携をとって、かかりつけ医制度の充実を図られたい。
- (4) 超高齢社会を踏まえた地域包括ケア病棟の充実に努められたい。
- (5) 認知症ケアメソッド「ユマニチュード」のケア技法を「認知症サポーター養成講座」のカリキュラムに取り入れられたい。

- (6) 地域での高齢者見守り体制については、地域間格差の無いよう認知症になっても住み慣れた地域で過ごすことのできるまちづくりを進められたい。
- (7) フレイル健診の導入やウェルネスプログラムの充実等、健康寿命を延ばすための方策を検討されたい。

## 5. 障がい者支援の推進

- (1) 障がい者の自立・就労を支援し、親亡き後の生活支援については個別に丁寧に取り組まれたい。
- (2) 成年後見制度の活用促進に取り組まれたい。
- (3) 知的障がい・身体障がい・精神障がい、それぞれの状況に応じた専門病院及びリハビリ施設をはじめ、学び・働き・生活できる総合施設整備に努められたい。
- (4) ガイドヘルパー養成やボランティア人材育成を行うとともに、登録バンクづくりに取り組まれたい。
- (5) 重度心身障がい者の東部での通所施設不足に対処されたい。
- (6) 障がい者の地域移行を推進するため、グループホーム設置を拡充するとともに、家族の支援を充実されたい。
- (7) 難病患者対策については、国の認定を受けていない疾病を含めて、国・県への医療費助成の拡充を要請するとともに、市独自の治療費の軽減措置、生活支援などの支援策の拡充を図られたい。
- (8) 精神障がい者への医療助成については、隣接自治体と同様に精神障がい者保健福祉手帳2級所持者も対象とするように拡充を図られたい。
- (9) 身体障がい者・知的障がい者が対象となっている運賃割引制度を、精神障がい者も対象とするよう改善されたい。（交通局にも要望）
- (10) 障がい者の見守り支援、日中活動が出来るスペースの提供等、障がい者を支援する拠点を各区に設置されたい。

## 6. 市民福祉・健康の増進

- (1) 神戸市がん対策推進条例を踏まえ、がん検診の検診率向上及び早期発見に向けて、検診費用補助の拡充やきめ細かな検診案内に努め、受診しやすい体制づくりに取り組まれたい。
- (2) がん相談支援センター同士の連携と市民への周知に努め、がん患者の不安解消対策や緩和ケアの拡充に努められたい。
- (3) UD（ユニバーサルデザイン）のまちづくりを引き続き計画的に推進されたい。

- (4) 腰痛、膝痛、脳卒中などからのリハビリに関する研究やノウハウの蓄積を促進し、必要な福祉器具が選択できるような福祉機器センターの設立を検討されたい。
- (5) 受動喫煙防止対策の取組にあたっては、市内全域が路上喫煙禁止であることの広報を進め、喫煙場所の見直しや禁煙推進に努められたい。
- (6) 特に青少年への薬物使用を撲滅させる対策の強化に取り組むとともに、使用者の依存症治療に取り組み、更生後の社会復帰支援、健全な社会生活への誘導に努められたい。
- (7) アルコール依存症対策を推進するため、健康被害の発生・再発防止策の体系的な充実を図るとともに、総合的推進体制を整えられたい。
- (8) 企業の健康診断等における検査や、特定検診案内において、肝炎ウイルス検診やピロリ菌検診の個別勧奨を進められたい。
- (9) 市民の健康づくり、健康寿命の延伸、病気予防のために、市民の参加しやすい健康プログラムを積極的に打ち出されたい。
- (10) 市民、NPO、企業、大学、行政が一体となった共同体を創設し、市民の健康維持・増進や介護予防が図られるような製品やサービスの開発を推し進められたい。

## 7. 食品の安全確保

- (1) 食品（輸入も含む）の安全管理、産地偽装食品、遺伝子組み換え、薬物使用表示、放射能検査など検査体制を強化し、市民への情報提供に取り組まれたい。
- (2) 菜食主義の外国人にも優しいグリーンマークの導入を図り、ベジタリアンが一目見ればわかる食品表示の導入を検討されたい。

## 8. 在宅ケア・医療システム

- (1) 三師会・看護協会・介護関連各団体との連携を強化し、神戸市らしい在宅ケアモデルの確立を目指されたい。
- (2) 在宅ケアに増員が必要となる看護師・保健師・ケアマネージャーの計画的な人員確保に取り組まれたい。
- (3) 地域包括ケアシステムの構築を早期に図られたい。

## 9. その他

- (1) 離職・休職された女性医師や看護師・保健師・薬剤師の再研修制度と復職支援策を検討されたい。

- (2) 虐待、DVの早期発見のため、医療機関の研修を充実されたい。
- (3) 神戸市人と猫との共生に関する条例に基づき、殺処分ゼロに向けた活動を支援するとともに、動物管理センターの施設拡充にも取り組まれない。
- (4) WHO神戸センターと連携し、「認知症神戸プロジェクト」を推進されたい。
- (5) 献血に関する職員向け研修を実施するとともに、献血に協力しやすい職場風土の醸成に努められたい。



## ◆こども家庭局

☆「子ども・子育て支援制度」の実施にあたり、保育の量的拡充や質的改善を図るとともに、一時保育や病児・病後児保育などの事業は子育て世帯に不安を与えないよう拡充に取り込まれたい。

☆「放課後子ども教室」「学童保育」を一体的に連携して取り組む「放課後子どもプラン」を充実させ、放課後施策の充実を図られたい。

☆地域の中で子供を見守り、子育てを応援する気運を醸成し、助け合い、思いやりの心を育むことができる環境整備に教育委員会と連携して取り組まれたい。（教育委員会にも要望）

### 1. 子育て支援

- (1) 産前産後の健康確認と育児指導・新生児の訪問事業の充実にさらに取り組まれない。
- (2) 妊娠・子育て中の不安や悩みが相談できるように、妊娠期からのハイリスク家庭を把握した上で有効な支援策に取り組み、産後ケア体制を充実されたい。
- (3) 待機児童については保育需要の予測を的確に行い、保育所・学童保育・小規模保育・家庭的保育等託児施設を整備・拡充されたい。また、学童保育の高学年の受入拡大、休日保育の実現に取り組まれたい。
- (4) 病児病後児保育の拡充に努められたい。
- (5) 認定こども園への移行など幼保連携が促進できるよう、各幼稚園・保育園を引き続き支援されたい。
- (6) 幼稚園教諭や小学校教諭を含めて「保育士・保育所支援センター」で人材マッチングをするなど、保育人材の確保は私立幼稚園・認定こども園を含めて支援の拡充とともに、保育士・幼稚園教諭などの給与改善に向けて、市独自の支援策を拡充されたい。
- (7) 障がい児保育については、安全に実施されるように必要な保育士の加配処置を行なうなど、すこやか保育の充実を図られたい。
- (8) 学童保育の過密解消と子供たちの放課後の安全な居場所提供に向けて、新たな児童館の整備や増床も含め、放課後こどもプランのさらなる拡充に取り組まれたい。
- (9) 学童保育については、神戸市の運営費助成制度を継続するとともに、国の放課後児童支援員処遇改善事業を活用し、さらなる学童保育指導員の処遇改善を図られたい。



- (10) ファミリーサポート制度では、地域で子育てを支えて行く仕組みをさらに拡充されたい。
- (11) 季節里親・週末里親の普及のための広報と養育里親制度の充実に取り組まれたい。
- (12) 乳児院の里親支援相談員配置とファミリーホームの設置をさらに拡充されたい。
- (13) 発達障害児の早期発見に向けて、こども家庭センターの人員配置増などによる相談までの待機時間の短縮など、体制の強化に努められたい。

## 2. 児童虐待防止

- (1) 虐待リスクの高い保護者への対策、虐待を繰り返す保護者へのカウンセリング等の支援に取り組まれたい。
- (2) 児童虐待の情報に対しては、警察との連携等、さらなる機動的な対策を講じ未然防止に取り組まれたい。
- (3) 面前DVの被害者である児童については、丁寧な対応をされたい。
- (4) こども家庭センターの人員増加とともに、保護された被虐待児へのケアの充実と保護期間中の教育体制の充実に取り組まれたい。
- (5) 平成32年度に完成する新こども家庭センターについては、強化した体制を整えられたい。
- (6) DVと虐待対策については、管轄する局の一本化を図られたい。（市民参画推進局にも要望）

## 3. その他

- (1) 子ども会・PTAなどの小学校単位で自主的に活動している団体との連携を強化し、「神戸っ子応援団」事業を全小学校区で取り組めるよう予算増に努められたい。
- (2) DV被害者対応については、組織一本化が実現するまでは、こども家庭局が市民参画推進局と連携して、DV被害者の一時保護に係る支援の強化と、シェルター退出後の就労支援や相談体制の強化に努められたい。

## ◆環境局

☆生物多様性保全条例に基づき、神戸の豊かな自然を守り、生物の維持・保全に取り組むとともに、環境にやさしい神戸のまちづくりに取り組まれない。

☆水素社会の実現に向けて、産業の活性化や環境共生社会の実現に向け、産官学連携のもと神戸市が先頭に立って推進されたい。（経済観光局にも要望）

☆子供のころから「ごみの分別教育」を推し進めるなど、長期計画の下、神戸市民全員が参画するリサイクルシステムを構築されたい。

### 1. 環境教育の推進

- (1) 環境モデル都市の取組は、市民の環境意識を高め、人材育成につながる取組として、国際的視野を持ち全庁的に推進されたい。
- (2) 自然保護、自然を育てる意識、エネルギーの使用削減、ゴミの減量・資源化などについて、ワケトンなどを活用し、保育所・学校園における実践活動を通じた環境教育に取り組まれない。
- (3) 環境を重視した公共交通を優先利用する意識づくりを進めるため、地域を指定してのパークアンドライドのモデル実施など、具体的な取組を通して意識啓発を進められたい。
- (4) KEMSに基づいた導入しやすいCO2削減の制度や仕組みの啓発を、市内全事業所、建物管理者などに拡大されたい。

### 2. 地球に優しい自然エネルギーの活用推進

- (1) 低公害車・電気自動車などの導入に対する助成制度の拡大を図られたい。
- (2) 電気自動車の普及促進を図るために急速充電スタンドのさらなる整備を進められたい。
- (3) 水素ステーションのより一層の整備を進められたい。
- (4) CASBEE神戸の認知度を高め、環境に配慮した建築物の普及促進に努められたい。
- (5) 「こうべCO2バンク」は参加者のインセンティブ、運営費の確保、グリーン証書の買取制度の促進など、市民に分かりやすい制度の構築に積極的に取り組まれない。

### 3. ごみの減量・資源化推進

- (1) ごみの減量化・排出量削減を目指し、さらなる市民啓発に取り組まれない。

- (2) 環境局が地域に入り、分別収集の徹底を地域住民とともに推進されたい。
- (3) 循環型社会の構築に寄与するためにも、3種混合収集方法の課題を抽出し、ビン割らない排出・収集・選別・最終処理方法等について検討し、大胆な収集方法の変更を行うなど、一人当たりの資源化量が政令市中上位を目指して資源化率向上を図られたい。
- (4) 古紙の資源集団回収は、回収頻度を増やすことに加え、常設排出拠点助成制度の拡大などを進め、回収拡大に取り組まれたい。
- (5) 市民の古着・古布のリサイクルの流れを市民に向けて広く周知し、回収量を増やすよう取組を検討されたい。
- (6) 大量に出る食品ロスの問題については、神戸市としても様々な観点から取組を進められたい。
- (7) 高齢化社会を見据えて、ひまわり収集体制の対象の拡大などゴミ収集体制のあり方を検討されたい。
- (8) レジ袋削減運動は、大規模店に限らずコンビニや商店への拡大を図られたい。

#### 4. まちの美化推進

- (1) 地域や企業が行うクリーン作戦に対する活動を支援されたい。
- (2) 警察と連携し、不法投棄対策（パトロール強化・啓発看板設置・監視カメラの設置など）を強化されたい。

#### 5. 受動喫煙防止推進

- (1) 「歩きたばこ禁止条例」に基づく路上喫煙禁止地区の拡大と、市内全域が路上喫煙禁止であることを、全市民に向けて周知徹底されたい。
- (2) 喫煙禁止施設や路上喫煙禁止区域外における喫煙マナーの指導に引き続き努められたい。

#### 6. 特定外来生物

- (1) ヒアリ等特定外来生物対策については、市民へ健康被害が及ばぬよう万全を期されたい。

## ◆経済観光局

☆ラグビーワールドカップ2019、2020年東京オリンピック・パラリンピック、2021年関西ワールドマスタースゲームズの開催に合わせ、国内外に神戸の魅力や情報を発信し、スポーツ産業や観光産業の誘致に努められたい。  
(教育委員会にも要望)

☆県下でも都心に近い場所に有数の大きな農・漁業産業をもっていることから、神戸ブランドの強化を図ると共に、抱える課題に取り組み、地産地消・加工や販売にも繋がる産業として活性化に取り組みたい。

☆水素社会の実現に向けて、産業の活性化や環境共生社会の実現に向け支援し、産官学連携のもと神戸市が先頭に立って推進されたい。(環境局にも要望)

☆神戸DMOとして設立された神戸観光局が取り組む具体的な事業内容を早急に決定し、着手するとともに、神戸観光局の発足を契機に、既存の観光地のさらなる魅力向上や効果的なプロモーションに努められたい。

### 1. 雇用拡大

(1) 国・県・経済界と連携し、若年者完全雇用に努められたい。

### 2. 企業誘致の推進（神戸エンタープライズプロモーションビューロー）

- (1) 神戸テクノ・ロジスティックパークへの製造業誘致を積極的に取り組まれたい。  
(2) スパコン（COE）による研究開発・産業誘致活動の促進に努められたい。

### 3. 新産業の創出

- (1) 神戸観光局と連携し、産業ツーリズムの振興を観光・企業活性化・市民広報など様々な視点で再考し、民間企業と連携して、神戸市が主体的に取り組まれたい。  
(2) 地元企業の保有する高度なものづくり技術と、神戸市の管理運営技術とを連携させた官民連携ビジネスの海外展開を積極的に推進されたい。  
(3) 「おとな旅」のメニューをさらに充実するとともに、実施範囲も市内全域に拡大するよう取り組まれたい。

### 4. 中小企業支援

- (1) 中小企業への融資制度は、ニーズに応じた利用しやすいものとなるよう適宜見直しされたい。

- (2) 地場産業の活性化を図るため、新しい製品展開や、新規市場開拓を積極的に進められたい。
- (3) 商店街・市場等の新しい担い手の創出や地元の発意への支援、情報提供に引き続き取り組まれたい。
- (4) 地元企業のものづくり技術の高度化に資するため、さらに中小企業のスパコン利活用促進策に取り組まれたい。
- (5) ITベンチャー企業と神戸の強みである医療産業やファッション産業がコラボレーションできる仕組みづくりなどに取り組まれたい。

## 5. 観光政策・観光コンベンションの推進

- (1) 観光政策の一つとして、外国人旅行者の買い物の便利性を高めるため、免税の拡充に努められたい。
- (2) 飲食店情報サイトについて、観光施策として関係業界と連携するなど神戸の伝統商品や新商品をもっと売り出すことを検討されたい。
- (3) 観光バスの駐車場を整備されたい。
- (4) 須磨海岸での観光漁業に積極的に取り組まれたい。
- (5) ムスリム観光客の誘致に向け、旅行社、レストラン、ホテルなど民間事業者と行政が、一体となって取り組まれたい。
- (6) 夜景・イルミネーションを観光資源としての夜景の価値を高め、海外プロモーションを含めた滞在型観光客の誘致を図られたい。
- (7) 神戸ルミナリエについては、開催期間を短縮するなどして開催されているが、継続して実施できるよう、さらに財政の見直しをされたい。
- (8) 神戸フィルムオフィスを積極的に活用し、ロケ地として優位性のある神戸への映像プロジェクト誘致を増やすことで、ブランドイメージの向上、観光客の誘致に取り組まれたい。
- (9) シティーループ時間延長との相乗効果を図るため、異人館などの観光施設開館時間の延長を検討されたい。

## 6. 農畜産業と漁業

- (1) 農畜産・漁業の六次産業化に積極的に取り組むとともに「神戸ブランド」づくりに取り組まれたい。
- (2) フルーツフラワーパークを農業振興の拠点として活かし、農畜産物の生産振興や担い手の育成、農業への新規参入者の支援を図られたい。
- (3) 新しくオープンした道の駅フルーツフラワーパーク大沢は、地産地消と神戸ブランドの発信に最大の効果を出せるよう取り組まれたい。

- (4) 不耕作地対策と就労支援の一環として、貸農地などの情報共有化を図り、農地の流通促進に努められたい。
- (5) 「農村活性化プロジェクト」での検討を踏まえ、県市連携し、耕作放棄地の解消に向けた実効性のある農業振興策を講じられたい。
- (6) 有害鳥獣の被害防止策を、自然との共生の視点も含め、さらに強化されたい。
- (7) 高齢化や離農により放置されている農業用ため池について、安全対策に努められたい。
- (8) ジビエ料理について、兵庫県と連携し神戸市内での推進・拡大に取り組まれたい。
- (9) 「神戸の食」推進協議会の活動を支援し、農水産業の活性化に努められたい。

## 7. まちづくり

- (1) 神戸市と新潟県及び有馬温泉と内湾温泉との連携・交流を図り、産業の活性化、観光振興の支援策に取り組まれたい。

## 8. その他

- (1) 地場産業を核とした、特に海外における神戸の物産展を拡充されたい。
- (2) 農業委員会法改正に合わせて、農業委員会事務局体制の整備・強化について検討されたい。

## ◆建設局

### 1. 道路整備と管理

- (1) 第二神明道路北線の永井谷以西の早期完成に取り組まれない。
- (2) 六甲トンネル有料道路の割引時間帯の拡大と無料化に向けて取り組まれない。
- (3) 神戸市有数の観光地である掬星台へのアクセス道路と、摩耶ビューラインへの駐車場整備を検討されたい。
- (4) 名谷駅周辺の自転車駐輪場について、無料化も含め、有効活用策を進められたい。
- (5) 神戸三田線（有馬口～五社北）の拡幅は、トンネル化も含め早期の事業化に取り組まれない。

### 2. まちの安全

- (1) 近年の豪雨による土砂災害の多発を受け、早急に防災対策と整備計画を策定し、安全を確保されたい。
- (2) 観光・集客施設周辺には、バスやタクシーの停車・駐車スペースを確保されたい。
- (3) 自然災害による民地の土砂崩れなどの復旧についても、行政が支援策を講じられたい。
- (4) 急傾斜地崩壊対策事業の要件を緩和するとともに財政支援をされたい。

### 3. 公園整備と管理

- (1) 小学生の軟式野球やソフトボールなどができる多目的グラウンドの整備を進められたい。
- (2) 硬式野球ができる球場を整備されたい。
- (3) 芝生のサッカーグラウンドを整備されたい。
- (4) 地域の公園について、草木や照明の整備や、遊具の点検など子供が安全に遊べる環境づくりや、中高年の健康づくりに向けて、健康遊具の整備をされたい。
- (5) 再度公園の活性化に取り組まれない。
- (6) 公園におけるごみの持ち帰りマナーの啓発に取り組まれない。

### 4. 王子動物園の活性化

- (1) 王子競技場の地下利用や自走式駐車場を整備するなど抜本的な駐車場対策を講じられたい。
- (2) 王子動物園の夏冬の利用客減対策のため、音響設備も整ったホールの活用を図られたい。



- (3) 遊園地エリア老朽化への対応や、動物展示の工夫など検討されたい。
- (4) 絶滅のおそれのある希少動物の種の保存や生物多様性保全のためには、飼育技術やノウハウの承継が重要であり、動物飼育手や獣医師の人材育成に鋭意取り組まれたい。

## 5. 六甲山整備

- (1) 土砂災害対策のハード整備について、県や国の砂防事業計画等についての情報を積極的に収集し、分かりやすく市民に説明されたい。
- (2) 六甲山森林整備事業で発生する間伐材の利用促進を図られたい。
- (3) 外国人観光客の登山者増加に対応したインフラ整備に取り組まれたい。

## 6. 下水道

- (1) 下水道事業は老朽施設改修に多額の費用がかかるため、その財源確保に向けて国の交付金制度の維持に努めつつ、経営の安定化に向けて、多様な観点から検討し、財政の確立を図られたい。

## 7. 広報

- (1) 老朽化施設の現状や維持・更新の取組、財政計画などを市民にわかるように広報されたい。



## ◆住宅都市局

☆神戸の都心の『未来の姿』（将来ビジョン）をもとに、観光客誘致を含めて国際都市神戸にふさわしい計画を策定し、早期に段階的に実行に移されたい。

☆三宮周辺の再整備にあたっては、新神戸駅とポートアイランド・神戸空港の交通体系は将来の神戸の都市機能と位置付け、再整備に取り組まれない。

☆空家対策の条例化をふまえ、特定空家の削減と優良空家の流通拡大に取り組まれない。

### 1. 神戸のさらなる飛躍に向けた都心の再生

- (1) 三宮駅周辺地域の再整備については、早急に構想を具体化し、整備に取り組まれない。
- (2) ESTの導入について、早期に課題を洗い出し、新たな交通体系の整備に取り組まれない。

### 2. すべてのひとにやさしい交通網の整備

- (1) 大阪湾岸道路西伸部の早期着工と高速道路網ネットワーク整備に取り組まれない。
- (2) 地域特性やニーズに応じた地域の暮らしを支える交通環境の形成を図られたい。
- (3) 神戸電鉄粟生線の上下分離方式を検討されたい。
- (4) 北神急行電鉄のさらなる料金の低減化や高齢者割引制度の創設を行うとともに、乗降客数の増加に向けた総合的な地域活性化策を講じられたい。

### 3. 神戸のまちの再生と安全な都市基盤の構築

- (1) 住宅耐震化率の向上に繋がるよう、必要な施策を検討・実施されたい。
- (2) 公営住宅の障がい者グループホーム（ケアホーム）への活用の拡充を進められたい。
- (3) 市街地において、グループホームが設置しやすい条件整備をさらに努められたい。
- (4) 密集市街地再生方針に基づくまちづくりに努められたい。
- (5) 引き続き、CASBEE神戸（建築物環境総合性能評価システム）の普及に努めるとともに、中古ビル・オフィスの環境性能評価の見える化に積極的に取り組まれない。

- (6) 大規模開発されたニュータウンについては、官民連携で魅力あるまちへの再生に向け、精力的に取り組むとともに、各地域の持つ景観や資源の長所を再分析したうえで、若者が新生活をイメージできるようなプロモーションを積極的に展開されたい。
- (7) 空き家や「再建築不可」の住居等の実態を調査し、国の動向を迅速に把握した上で、国の制度を活用したサービス付き高齢者住宅や訪問介護拠点への転換など、効果的な手法を面的に検討されたい。

#### 4. 神戸らしい多様なまちの美しさを活かした魅力づくり

- (1) フラワーロード、ハーバーランドに続いて、各局連携を図り「光の都」神戸推進のため、夜間景観形成の魅力アップに取り組まれたい。
- (2) まやビューラインについては、切符売り場を三宮に整備するなどして、三宮から掬星台へのルートを確立し利便性を確保することで利用促進に繋がられたい。
- (3) 夜景景観を楽しめる視点場へ、ホテル業界とも連携しアクセスを確保して、滞在型観光に繋がられたい。
- (4) 市有地跡地（北区役所・兵庫商業高校等）の活用については、まちの新しい魅力作り、賑わいづくりに資するよう計画されたい。
- (5) 六甲山上の民間保養所について、市民・観光客が利用できるような施策を講じられたい。
- (6) 神戸市として夢のある六甲山の将来像を提示した六甲山ビジョンを策定されたい。

#### 5. その他

- (1) 住宅セーフティネット法の改正による国の制度を活用した住宅確保困難者に対する住宅供給の制度を創設されたい。
- (2) レッドデータ指定を受けた住宅や建築物の所有者に対して、住宅改修や移転を促進する補助制度を検討されたい。
- (3) 県産木材や、六甲山間伐材の利用促進のため、経済観光局や建設局と連携した新しい事業に取り組まれたい。
- (4) 市内建築物の木材利用促進をはかるとともに、CLT材など先端の材料を使用した建築技術の市内事業者への普及に取り組まれたい。
- (5) 神戸電鉄北鈴蘭台駅前のロータリーの整備を図られたい。

## ◆みなと総局

☆瀬戸内クルーズを含めたクルーズ船誘致に向けた取組をさらに強化されたい。

☆企業誘致に係る各種支援・優遇処置を拡充し、労働力の確保に努め、定住者の増加を図るため、居住環境の整備に取り組まれない。（企画調整局にも要望）

### 1. 神戸港

- (1) 神戸港将来構想の実現に向け、新たな価値を創造する神戸港を目指し、瀬戸内貨物・九州貨物の奪還を図るとともに、アジアトランシップ貨物の増加や在来貨物の集荷にも一層取り組まれない。
- (2) 都心・ウォーターフロント空間は、神戸らしさを持つ「光の都」神戸の玄関口にふさわしい「海からの光・夜景」の創出に取り組まれない。
- (3) 神戸港・大阪港両埠頭の合併メリットを活かし、日本海側・内陸からの阪神港への集荷の推進のため、インランドポートの事業化を推進されたい。
- (4) 阪神港国際コンテナ戦略港湾づくりを核とし、港湾におけるCO2排出抑制をする陸上電源の整備を図られたい。
- (5) 新港突堤については、賑わいのある企画の創出を図る取組を進められたい。
- (6) 須磨海岸は、四季折々の自然を体感できる観光漁業やマリンスポーツが楽しめる環境を整備し、一年中家族連れで賑わう親水ゾーンとなるよう取り組まれない。
- (7) 須磨海岸沿い遊歩道について、自転車道・ランニングコース・歩道を整備し、距離表示やルート案内板を設置するなど、神戸マラソンコースから海岸へ誘導する工夫をされたい。
- (8) 船員に対する政策減税については、船員の確保対策も含め、実現に向けて取り組まれない。

### 2. 神戸空港

- (1) コンセプションの効果を最大限に発揮できるよう、3空港一体運営による利便性の向上と利用者拡大に努められたい。
- (2) 神戸空港の規制緩和等に引き続き全力を挙げるとともに、ビジネスジェットを受け入れ空港として働きかけられたい。
- (3) 国際便の就航、CIQ管理体制の整備などを国に強く要望されたい。

- (4) 海上アクセスは、安全対策を十分講じるとともに、外国人観光客が増加傾向にあることから、関西国際空港からのインバウンド誘致に利用するなど乗船客数の増加に努め、神戸空港が目的地となるよう集客ツールを充実されたい。
- (5) コンセプションに伴う海上アクセスの役割と活性化の可能性を十分考慮し、関西空港へのアクセス向上や泉州や和歌山方面との連携に取り組まれたい。

### 3. 土地処分・企業誘致

- (1) 空港島・産業団地の分譲、住宅団地の分譲促進に努められたい。特に、売却可能産業団地として唯一残るテクノ・ロジスティックパークのより一層の土地売却推進を行い、立地特性を活かした駐車場・駐輪場など働きやすいツールを充実されたい。

### 4. その他

- (1) ハーバーハイウェイのETC化促進のため、阪神高速道路株式会社と連携し、積極的に推進されたい。
- (2) 将来を見据えた海路の玄関口として物流・観光の誘致と受け入れ体制の整備にも取り組まれたい。

## ◆消防局

### 1. 消防・救急救命体制

- (1) 複雑多様化する大規模災害を想定した人材育成に努めるとともに、特殊災害やテロに備えた特殊機材の整備拡充に引き続き努力されたい。
- (2) 救急救命士を計画的に養成し、人的確保等の拡充を図り、施策を充実されたい。
- (3) 救急車の適正利用に向けて、啓発を強化されたい。
- (4) #7119の普及に取り組まれたい。(保健福祉局にも要望)

### 2. 地域防災

- (1) 防災福祉コミュニティに団塊の世代や若年層が活動に参加しやすい仕組みをつくり、地域の安全を支える人材育成を支援されたい。
- (2) 女性救急救命士を全署に配置できるように配慮されたい。
- (3) 女性消防団員を増やすよう努力されたい。
- (4) 市民の防災への体験と意識づけ強化に向けて、市民防災総合センターの機能の充実を図り、市民が気楽に体験できる仕組みづくりに取り組まれたい。
- (5) 地域の安心・安全を向上されるために、希望する消防団に軽消防車の配備を推進されたい。
- (6) 地域コミュニティー再生のため、自治会やPTAなどの活動にも繋がっていくように、消防団協力事業所制度の拡充を図り、その成果を他局と共有されたい。

### 3. その他

- (1) 消防音楽隊をさらに充実されたい。
- (2) 震災経験の伝承のために、神戸市民防災の日1.17の取組を充実されたい。
- (3) 職員の安全確保を図りながら活動計画を策定されたい。
- (4) 廃棄または売却予定の消防資器材について、途上国支援のみでなく「世界の皆様への感謝 神戸市」のメッセージを記入して譲渡することを検討されたい。

## ◆水道局

☆本市水道局のみならず近隣市町の職員を受け入れ、技術の修得・承継を図るための研修センターを設けられたい。

### 1. 安全でおいしい水の提供

- (1) 県民緑税を活用し、水源保全用地等への植林を進めるなど水質管理体制を強化されたい。
- (2) 水源保全用地の取得率を高め、水源保全対策に取り組まれたい。

### 2. 健全経営

- (1) 水ビジネスの海外展開に水道局の保有する水管理技術をもって参画し、民間企業や経済団体と連携して、国際貢献を目指し、また、周辺自治体の水道維持のニーズにも対応されたい。
- (2) 次世代水道システムの情報集約などに努め、導入について検討されたい。
- (3) 地ビールやボトルウォーターで展開されている布引溪流の水のさらなる有効活用と、新たに収益をあげられるような事業について、可能性を追求されたい。
- (4) 経営の安定化に向けて、多様な観点から検討し、財政の確立を図られたい。

### 3. 設備

- (1) 低炭素社会を目指し、省エネや新エネルギーの視点に立って千苅貯水池・布引・羽束川・波豆川・配水池等、水力発電の設置など設備投資を検討されたい。

### 4. 水の科学博物館

- (1) 環境教育の一環として活用されるよう、設備の充実と一般来館者用の駐車場整備に努められたい。

### 5. 広報

- (1) 老朽化施設の現状や維持・更新の取組、財政計画などを市民にわかるように広報されたい。

## ◆交通局

☆地下鉄のホームの安全確保対策として転落防止柵（ホームドア）の設置に早急に取り組まれない。

### 1. 乗客増対策、収入増対策、利便性サービス向上

- (1) 地下鉄海岸線の乗客増対策については、沿線のまちの活性化に繋がるよう取り組まれない。
- (2) 地下鉄のホームにモニターを設置するなど映像や音声を効果的に取り入れたタイムリーな情報発信を検討されたい。
- (3) 地下鉄名谷駅前・妙法寺駅前バスターミナルのリニューアルを計画されたい。
- (4) 地下鉄駅前店舗に医療施設等の拡充を図られたい。
- (5) 地域密着型のコミュニティバスの運行など市民ニーズに柔軟に対応されたい。
- (6) 通勤・通学だけに頼らない乗客数増の取組として、観光客等が市バスを利用しやすくなるよう、都心部のバス停を中心に案内表示の充実やICTを利用した乗り継ぎ案内などさらなる改良に努められたい。
- (7) バス・ロケーションシステムは、市民に使いやすいシステムとして全線導入を推進されたい。
- (8) 身体障がい者・知的障がい者が対象となっている運賃割引制度を、精神障がい者も対象とするよう改善されたい。（保健福祉局にも要望）

### 2. その他

- (1) 低炭素社会づくりを目指す総合交通体系の推進と併せた取組を展開されたい。
- (2) 福祉体験授業など、今後も他局と連携して広報・発信に取り組まれない。
- (3) 安全運行の遵守などに努められたい。
- (4) 交通政策基本法の成立を受けて、市民の足を守るため、バス路線のあり方などの検討を推進されたい。
- (5) 次期計画作成時には、他都市でも採用されているシンクタンクの活用も視野に入れ、新しいアイデアや住民ニーズを引き出せる取組を行われたい。



## ◆教育委員会

☆ラグビーワールドカップ2019、2020年東京オリンピック・パラリンピック、2021年関西ワールドマスターズゲームズの開催に合わせ、国内外に神戸の魅力や情報を発信し、スポーツ産業や観光産業の誘致に努められたい。  
(経済観光局にも要望)

☆地域の中で子供を見守り、子育てを応援する気運を醸成し、助け合い、思いやりの心を育むことができる環境整備に、こども家庭局と連携して取り組まられたい。(こども家庭局にも要望)

### 1. 子供たちの安全確保

- (1) エレベーター設置・トイレ改修・段差解消・設備のユニバーサルデザイン化など、災害時の避難場所となる学校づくりを引き続き進められたい。
- (2) いじめ・不登校問題に対応するスクールカウンセラーの小学校への拡充配置に努められたい。
- (3) 校区の拡大などによる子供の安全な通学を確保するため、バス通学制度やスクールバスの導入について検討されたい。

### 2. 学校教育の充実

- (1) 29時間勤務の「学びの基礎学力向上推進補助員」の配置を基本とし、複数指導できるようさらに拡充されたい。
- (2) 教頭補佐の拡充と併せて、総務指導学習担当員の拡充等、引き続き教員の多忙化対策に取り組まられたい。
- (3) 学校司書の早急な全校配置、及び学校図書館図書の新書購入を充実されたい。
- (4) ICT機能の充実・環境整備を行い、最先端の授業活用の構築に努められたい。
- (5) 中学校の部活動では、外部指導員、及び特別外部指導員のさらなる拡充などで活性化に努め、生徒にとって選択幅が広がるよう部活数の確保に努められたい。
- (6) 必修武道や部活動指導、小学校におけるスポーツ活動などに、教育・地域連携センターによるさらなる地域人材の活用を積極的に進められたい。

### 3. 特色ある神戸の教育推進

- (1) 少人数指導・複数指導を小・中学校全学年に拡充されたい。
- (2) 「神戸っ子応援団」の取組は、コーディネーターの研修等を行い、こども家庭局・教育委員会・区役所が一体となって地域の活動をさらに支援強化されたい。



- (3) スクールソーシャルワーカーの配置を増強されたい。
- (4) ALTの中学校、及び小学校への指導時間数・派遣回数さらに拡充されたい。
- (5) 平成32年度からの英語の教科化に向けて、教員採用試験の教科に英語を取り入れるなど、英語教科化に向けた体制充実に努められたい。
- (6) 小学校英語活動の推進のためには、地域人材の研修の充実、増員、指導時間数増を検討されたい。
- (7) インクルーシブ教育の実現に向け、特別支援教育支援員や専門的な支援員の配置日数・人材をさらに拡充されたい。
- (8) 特別支援学校生徒の就労については、就業訓練を始め企業・ハローワーク・就労支援センター等と連携し、就職先を確立するとともに、定着支援に取り組まれたい。
- (9) 帰国子女・外国籍生徒については兵庫県などとの協力のもと、多文化共生サポーターを拡充するなどサポート体制を拡充し、進学率の向上など卒業後の進路指導の充実にさらに努められたい。
- (10) こうべ学びの支援センターの相談体制のさらなる人的強化に努められたい。
- (11) 生徒指導担当教員を加配されたい。

#### 4. 教職員の職場環境

- (1) 教職員の資質向上のための教科研究活動や教職員研修、国際視察研修を実施し、必要な予算を確保されたい。
- (2) 教職員のメンタルヘルスの予防対策を進め、退職者の職場復帰に向けた体制を充実されたい。
- (3) 教職員への多忙化アンケートの結果を踏まえ、就学援助事務の学校事務からの除外、小学校におけるスポーツ活動への地域人材の活用など、多忙化解消にスピード感をもって取り組まれたい。

#### 5. 食育の推進

- (1) 学校給食の食材については、地産地消率向上と食育推進に取り組まれたい。
- (2) 学校給食向けに市が生産奨励している野菜について、重量・形状等が規格から外れたもののさらなる有効活用を検討されたい。
- (3) 中学校給食への市内産農畜産物導入について、地産地消の観点から関係方面に働きかけられたい。
- (4) 中学校給食が安全で安定的に提供できるよう、継続して努められたい。

## 6. 高等学校振興

- (1) 定時制・通信制高校への通就学を保証するよう関係方面に働きかけられたい。
- (2) 定時制高校については、昼間部を拡充されたい。
- (3) 北神地区の高等学校新設を検討されたい。
- (4) 平成27年度に通学区域の見直しが行われ校区が拡大したため、高校生がいる世帯の家計負担を軽減するため、高額通学費に対する補助制度を創設されたい。

## 7. 学校施設の整備

- (1) 児童生徒が急増すると見込まれる地域においては、校舎整備や特別教室・給食配膳室などの施設整備を引き続き計画的に進められたい。
- (2) 保健室の整備は、養護教諭の意見を反映されたい。
- (3) 学校の運動場の定期的な整備と、遊具の安全点検・改修を進められたい。

## 8. スポーツ振興

- (1) 小・中・高校生が参加する各種大会の運営予算の拡充を図られたい。
- (2) 教職員の休日勤務時間外を含めたスポーツ活動指導に関わる人材補強体制を構築されたい。
- (3) 「神戸総合型地域スポーツクラブ」「小学校スポーツ協会」「少年団活動」については、家庭・地域社会の教育力の活用であり、さらなる予算増を図られたい。
- (4) 策定した熱中症対策指針を、学校現場全体に周知されたい。
- (5) 国際理解教育の一環として、外国とのスポーツ交流を進められたい。

## 9. その他

- (1) 神戸市立垂水・青陽西養護学校の跡地活用については、垂水区住民及び近隣の団体等からの要望等を参考に跡地活用の検討を全庁的に行われたい。
- (2) 狭く老朽化した各区図書館については、市民が使いやすい場所への移転も視野に入れ、市民活動の場の確保や青少年の居場所づくりなど地域活性化の観点も含めて、再整備を検討されたい。

## 県との連携

- (1) 平成30年度から国民健康保険の財政運営の責任主体が兵庫県となることから、国民健康保険事業における必要な事業費を十分確保し、被保険者の大幅な負担増がないよう県と連携して取り組まれない。
- (2) 新長田新庁舎建設を踏まえ、県市の行政分野について今後さらに協調路線を拡充し、効率的な行政経営の取組に努められたい。
- (3) 兵庫県と連携し、東京事務所、海外事務所を活用し、さらなるコンベンションの誘致活動に努められたい。
- (4) 神戸港開港150年を迎えるにあたり、関西3空港一体運営による神戸空港の利用率向上に向け、兵庫県と関西広域連合、商工会議所等との連携強化を図られたい。
- (5) 土砂災害防止対策、防災・減災対策を兵庫県と連携し、万全を期されたい。
- (6) ヒートアイランド現象の緩和に向けた芝生化や屋上緑化などの事業推進に対して、県民緑税の活用を図り、都心緑化や土砂災害防止対策が急がれる六甲山系にさらなる配分がなされるよう支援拡充に努められたい。
- (7) 労働行政について、生活困窮者自立支援事業及び障害者総合支援法等に係る就労支援事業を円滑に行うため、労働行政の権限等を神戸市に委譲がなされるよう、県市で協議されたい。
- (8) 地域医療体制整備をはじめ、在宅医療・介護サービスのさらなる充実に向けて県市協調として取り組まれない。
- (9) 県に兵庫県女性家庭センターにおける24時間の専門相談対応の実施を求めるなど、DV被害者支援の強化に努められたい。
- (10) 大阪湾岸道路西伸部は兵庫県・関係機関と連携し早期着工を目指されたい。
- (11) 三宮北地区の健全なまちづくりに向けて、県や県警・地域と連携して実効ある対策を引き続き講じられたい。（危機管理室にも要望）
- (12) 次世代スパコン（ポスト京）の整備・運用と産業利用促進の拡充及び人材育成等兵庫県と連携してさらに進められたい。
- (13) 水素エネルギーのさらなる利活用促進を図るため、県市協調による、燃料電池自動車に対する補助制度、水素ステーション整備支援制度を継続されたい。